



### プロトコル

サンプル：	250mL LB 培地で培養した大腸菌
バッファー	カラムの種類によって変更（PBS など）
容量：	25mL
容器：	50mL チューブ
マイクロチップ：	4418 (3.2mm(1/8")) マイクロチップ
Amplitude：	40%
パルス：	ON 2 秒、OFF 2 秒
Total On Time：	6 分（2 分ごとに、冷却の時間を少し設ける）
その他処理条件：	消音ボックス、CoolBox と CoolRack を使用

### お客様のコメント

- 遺伝子組み換えタンパク質の精製のための大腸菌破碎に Q500 を使用しています。
- 超音波処理前は白く濁っていますが、処理後は焦げ茶色で透けて見えます。
- アフィニティークロマトグラフで精製し、目的タンパク質を得られています。